

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サンエー化研
 コード番号 4234 URL <http://www.sun-a-kaken.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 藤岡 宣隆
 (氏名) 芝 彦尚

TEL 03-3241-5701

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	22,742	△9.5	144	△86.7	260	△77.9	193	△75.6
26年3月期第3四半期	25,119	2.6	1,092	43.8	1,180	32.4	795	195.1

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 477百万円 (△44.3%) 26年3月期第3四半期 857百万円 (182.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	17.67	17.66
26年3月期第3四半期	72.45	72.38

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	29,955	16,285	53.9	1,472.21
26年3月期	30,148	15,694	51.6	1,416.93

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 16,157百万円 26年3月期 15,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
27年3月期	—	7.00	—		
27年3月期(予想)				7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,400	△7.9	300	△74.4	410	△67.5	280	△66.4	25.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記資料)に関する事項 (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	11,320,000 株	26年3月期	11,320,000 株
27年3月期3Q	345,203 株	26年3月期	346,703 株
27年3月期3Q	10,973,864 株	26年3月期3Q	10,971,922 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は完了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注記事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、個人消費と投資の伸びに支えられて米国が回復基調にあるのに対し、欧州では周辺国の影響もあって依然として景気の停滞が続いております。また、中国においては比較的高い成長率を維持しておりますが、企業の過剰な設備投資の調整過程にあり、景気は減速傾向にあります。さらには中東情勢の緊迫化や原油価格急落による産油国経済の悪化等の影響も加わり、不安定さを増しつつあります。

一方、わが国経済は、企業収益が回復へと向かう反面、消費税増税と円安による物価上昇が実質賃金の低下を招いたことから個人消費が振るわず、極めて低い成長に留まっております。

そのような状況下、当社グループにおきましては、国内経済の停滞と韓国向けの販売不振により業績は総じて低調な結果となりました。とりわけ前期好調であった機能性材料においては、市場環境の急激な変化に対応できなかったことから大幅な減収減益となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は、売上高227億42百万円（前年同期比9.5%減）、営業利益1億44百万円（前年同期比86.7%減）、経常利益2億60百万円（前年同期比77.9%減）、四半期純利益1億93百万円（前年同期比75.6%減）となりました。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりです。

軽包装材料

当セグメントにつきましては、主力製品のひとつである電子レンジ対応食品包材「レンジD o!」の採用件数の増加と高防湿PTPシート用フィルム「テクニフィルム」をはじめ医薬・医療用包材の新規ユーザー獲得等に伴う受注増により、これらの分野においては増収となりました。

一方、エア緩衝材「エアロテクト」及び電子部品用キャリアテープはユーザーの減産によって、清涼飲料用パウチは夏場の天候不順によって、それぞれ減収となった他、その他の包材についても個人消費の落ち込み等の影響で減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は105億6百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

産業資材

当セグメントにつきましては、住宅着工件数の減少や消費の冷え込みによりテープ基材関連の売上は前年同期比で減少しました。

剥離紙については、自動車関連部材用をはじめ電子部品固定用、建材用などの用途では比較的堅調な売上を維持しましたが、フレキシブルプリント基板の製造に使用される電材用工程紙については韓国向けが販売不振に陥り、その他の用途についても国内景気の低迷により受注が減少したため、剥離紙全体としては前年同期比で減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は57億93百万円（前年同期比4.9%減）となりました。

機能性材料

当セグメントにつきましては、携帯情報端末向けの表面保護フィルムが前期までは好調でありましたが、「サニテクト」は韓国向けの販売不振と採用対象端末のモデルチェンジ等によって、「PAC」は主に競合他社との競争激化によってそれぞれ売上が減少しました。また、「SAT」については、タッチパネルの仕様の変化や当社製品が使用されていた高機能フィルムの減産等の影響で受注が減少し、いずれのタイプの表面保護フィルムも前年同期比で大幅な減収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は61億38百万円（前年同期比22.2%減）となりました。

なお、セグメント別の売上高は以下のとおりです。

セグメント別	売上高	構成比	前年同期比
軽包装材料	10,506百万円	46.2%	2.8%減
産業資材	5,793百万円	25.5%	4.9%減
機能性材料	6,138百万円	27.0%	22.2%減
その他	303百万円	1.3%	4.5%減
合計	22,742百万円	100.0%	9.5%減

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

総資産は前連結会計年度末と比べて1億93百万円減少いたしました。これは主に、投資有価証券が9億34百万円増加したことや、退職給付に係る資産が3億50百万円増加したこと等の増加要因がありましたが、現金及び預金が7億75百万円減少したことや、受取手形及び売掛金が3億37百万円減少したこと等の減少要因に相殺されたためであります。

(負債)

負債は前連結会計年度末と比べて7億84百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が2億85百万円減少したことや、賞与引当金が2億53百万円減少したこと、長期借入金が2億30百万円減少したためであります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べて5億90百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が3億25百万円増加したことや、その他有価証券評価差額金が2億32百万円増加したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通し勘案した結果、平成26年11月14日に発表しました通期の連結業績予想に変更はありません。今後、業績の見通しに変化がある場合には速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が355,218千円増加し、退職給付に係る負債が88,550千円減少し、利益剰余金が285,609千円増加しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,107,202	5,331,536
受取手形及び売掛金	10,007,203	9,669,624
電子記録債権	925,286	919,076
商品及び製品	1,235,352	1,309,257
仕掛品	1,470,609	1,289,320
原材料及び貯蔵品	825,272	727,878
その他	293,896	385,199
貸倒引当金	△49,777	△47,897
流動資産合計	20,815,044	19,583,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,419,296	2,350,636
機械装置及び運搬具(純額)	1,091,796	999,019
土地	1,916,530	1,916,530
その他(純額)	294,647	216,280
有形固定資産合計	5,722,271	5,482,467
無形固定資産	22,155	18,704
投資その他の資産		
投資有価証券	3,139,863	4,073,899
退職給付に係る資産	347,653	698,648
その他	103,149	98,119
貸倒引当金	△1,708	△730
投資その他の資産合計	3,588,959	4,869,937
固定資産合計	9,333,386	10,371,109
資産合計	30,148,430	29,955,106

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,808,308	6,645,734
短期借入金	3,310,000	3,340,000
未払法人税等	285,607	—
賞与引当金	484,127	230,280
役員賞与引当金	6,966	—
その他	1,572,596	1,525,754
流動負債合計	12,467,606	11,741,769
固定負債		
長期借入金	639,985	409,500
役員退職慰労引当金	129,099	120,312
環境対策引当金	274,124	271,465
退職給付に係る負債	563,497	460,567
資産除去債務	99,439	100,287
その他	280,599	566,203
固定負債合計	1,986,744	1,928,335
負債合計	14,454,350	13,670,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,176,000	2,176,000
資本剰余金	2,136,298	2,136,756
利益剰余金	10,877,642	11,203,549
自己株式	△116,459	△115,955
株主資本合計	15,073,480	15,400,350
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	585,707	818,197
為替換算調整勘定	1,278	35,405
退職給付に係る調整累計額	△111,972	△96,695
その他の包括利益累計額合計	475,013	756,907
新株予約権	18,133	—
少数株主持分	127,451	127,741
純資産合計	15,694,079	16,285,000
負債純資産合計	30,148,430	29,955,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	25,119,226	22,742,412
売上原価	21,752,493	20,421,846
売上総利益	3,366,733	2,320,566
販売費及び一般管理費	2,274,468	2,175,663
営業利益	1,092,264	144,903
営業外収益		
受取利息	266	453
受取配当金	74,884	80,507
作業くず売却益	50,823	44,584
クレーム収入	47,675	22,644
その他	52,255	16,867
営業外収益合計	225,905	165,056
営業外費用		
支払利息	34,125	27,411
持分法による投資損失	—	7,937
環境対策費	98,760	—
その他	4,341	14,069
営業外費用合計	137,226	49,418
経常利益	1,180,943	260,540
特別利益		
新株予約権戻入益	—	17,956
受取保険金	140,260	—
特別利益合計	140,260	17,956
特別損失		
固定資産除却損	1,487	—
環境対策設備除却関連損失	62,787	—
特別損失合計	64,274	—
税金等調整前四半期純利益	1,256,929	278,497
法人税、住民税及び事業税	206,835	10,290
法人税等調整額	249,090	72,791
法人税等合計	455,926	83,082
少数株主損益調整前四半期純利益	801,003	195,415
少数株主利益	5,999	1,480
四半期純利益	795,003	193,935

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	801,003	195,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,863	232,799
退職給付に係る調整額	—	15,277
持分法適用会社に対する持分相当額	—	34,126
その他の包括利益合計	56,863	282,203
四半期包括利益	857,867	477,619
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	851,860	475,828
少数株主に係る四半期包括利益	6,007	1,790

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	10,814,381	6,095,252	7,891,896	24,801,531	317,694	25,119,226
セグメント利益	331,973	34,234	684,105	1,050,312	41,952	1,092,264

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	軽包装材料	産業資材	機能性材料	計		
売上高	10,506,694	5,793,568	6,138,823	22,439,087	303,325	22,742,412
セグメント利益又は損失 (△)	226,350	5,791	△111,740	120,402	24,500	144,903

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに振り分けるのが困難な商品の仕入売り等であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。